

平成27年度 自己評価結果（教職員）

学校名	北海道江別高等学校
-----	-----------

1 本年度の経営方針

学科の特性や専門性を生かし、生徒の多様な学習ニーズに応えるとともに、学科間の連携を通して、高校教育として共通に求められる知識や技能を修得させる。
 (1) 魅力ある学校づくりの推進～創意工夫に富んだ特色と魅力ある教育活動を進め、家庭や地域社会から信頼される学校づくりにを推進する。
 (2) 教職員の協働体制の推進～教職員一人一人が自らの資質能力を高め、質の高い教育を保証するための組織協働体制の構築を推進する。
 (3) 適切な教育環境づくりの推進～生徒の多様な活動を支援するとともに、生徒一人一人の可能性を伸ばす教育環境の整備を推進する。

2 自己評価結果及び改善方策 A(十分である) B(おおむね十分である) C(不十分である) D(改善を要する)

評価項目・指標等			達成状況	取組の適切さ	今後の改善方策
大項目	中項目	小項目			
教育課程・学習指導	教育課程等の状況	学校の教育目標を踏まえて教育課程が編成・実施され、教職員間で共有されているか (各学科の特色ある取組や普通科類型選択が共通理解の下に推進されていればB)	A 0 B 35 C 9 D 0	A 1 B 32 C 8 D 1	①普通科類型選択は目標とするところが曖昧であるため、共通理解の下に推進されているとは言えない。何を目標とするのか明確にする必要がある。 ②類型選択の導入前と導入後で進路状況にどのような変化があったのか等の検証が必要。 ③シラバス等は年度初めに提示するだけにとどまっているので効果的に活用していけるようにする。 ④家庭学習の大切さを継続して発信するとともに、教員間の共通認識を高める。 ⑤家庭学習の習慣化では学習意欲を喚起するような課題の提示を行う。 ⑥アクティブラーニングをはじめ、新しい授業方策を共有するために、各種研修を効果的に活用する。 ⑦生徒による授業評価を活かした授業改善を進める。
		学校行事、特別活動が適切な管理体制の下に実施されているか (行事・特別活動・総合的な学習の時間等が適切かつ効率的に実施されていればB)	A 6 B 35 C 3 D 0	A 6 B 34 C 2 D 0	
		シラバスの様式や内容が、生徒にとって活用しやすく、学習態度を高めるような記載となっているか (生徒による授業評価やアンケート結果で肯定的な評価が多ければB)	A 0 B 32 C 10 D 0	A 1 B 31 C 7 D 1	
	各教科等の授業の状況	画一的な授業にとらわれず、習熟度に応じた指導(補充的学習・発展的学習)が適切に行われているか (学習状況調査結果等で肯定的な評価が多ければB)	A 5 B 32 C 5 D 0	A 3 B 31 C 6 D 0	
		各教科で家庭学習習慣が確立されるような取組を行なっているか (学習状況調査結果等で肯定的な評価が多ければB)	A 0 B 33 C 8 D 1	A 0 B 33 C 7 D 1	
生徒指導	いじめへの対応状況	生徒の状況観察を適切に行い、いじめ防止に職員全体で取り組んでいるか (アンケート結果や面談等から、いじめに関する情報が昨年度より下回っていればB)	A 5 B 39 C 0 D 0	A 5 B 36 C 0 D 0	①SCの勤務時間が足りなく面談やカンファレンスの時間の確保。 ②生徒の観察・教員間の情報共有をより意識し、変化に気づかせることを心がける。 ③学年間での情報共有を生徒指導部が中心となりながら、連携を深めながら行う。 ④ネットを中止とする生徒指導事故も多発していることから、学校としての指導指針を整理、統合していく。 ⑤モラル意識や他者への思いやり等、生徒の道徳性を養うことが求められている。現状の講演会を継続しながら、HR単位でプラスアルファの指導を行う。
	生徒指導の状況	生徒の状況を共有し、問題行動に適切に対処できているか (問題行動等(遅刻者数や交通事故等も含む)の指導件数が前年度より下回っていればB)	A 1 B 38 C 5 D 1	A 2 B 35 C 5 D 1	
	特別な配慮を要する生徒の状況	教育相談が定期的・効果的に実施され、保護者やスクールカウンセラー、関係機関との連携協力の下で適切に対処されているか (退学・休学、不登校傾向の生徒数が前年より下回っていればB)	A 6 B 35 C 2 D 1	A 7 B 33 C 1 D 1	
進路指導	進路指導の状況	生徒の適切な勤労観・職業間の形成や社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力・態度を育成するための体系的・系統的な指導が行われているか。 (保護者懇談、生徒との面談をとおして進路指導計画等が伝わっていればB)	A 5 B 36 C 3 D 0	A 5 B 36 C 2 D 0	①インターンシップの事後指導の充実を図る。生徒が作成したまとめ教員間で共有し、次年度へ活かす。 ②インターンシップの学科での取り組みの継続。 ③生徒への適切な情報提供について、さらに検討を進める。 ④情報を提供するととどまらず、自立に向けて支援することを目標とする
	インターンシップの状況	生徒に望ましい勤労観・職業観を育成するための職場体験や就業体験が適切に実施されているか (職場体験を行った生徒数、生徒の肯定的な感想が前年より上回っていればB)	A 5 B 35 C 4 D 1	A 5 B 34 C 4 D 0	
健康安全	保健管理の状況	生徒の保健管理(薬物乱用防止、救急救命法、心のケア等を含む)のための体制が整備され、保健指導・保健相談が適切に実施されているか (講演会実施後のアンケート結果等で肯定的な評価が多ければB)	A 12 B 30 C 2 D 0	A 13 B 28 C 1 D 0	①健康安全部が主催する研修会に全員参加できるよう、工夫する。 ②ピアサポートなど地道な取り組みはしっかりと継続していく。 ③災害時のマニュアルについては、具体的かつ効率的で簡潔なマニュアルを提示していく。 ④はなまる連絡帳の効果的活用を進める。
	安全管理の状況	学校事故や緊急事態に対応できるよう、危機管理マニュアルが整備され、周知されているか (防災時の役割分担、手順を理解し、生徒も避難方法を理解していればB)	A 5 B 39 C 1 D 0	A 5 B 36 C 2 D 0	
その他	保護者・地域との連携の状況	保護者や地域へ積極的に本校の教育活動を発信し、地域貢献に努めているか。 (保護者・地域からの肯定的な意見が多ければB)	A 2 B 37 C 6 D 0	A 3 B 34 C 6 D 0	①HPの記事については、各行事が終了後に各行事の担当分掌内で作成・決済をとり、HP更新管理担当者に提出するなどこまめな更新を行う。 ②地域住民の力を活用した授業実践や民間団体および自治体等の主催する行事へPTAと連携して生徒教師が積極的に参加するなど地域と積極的につながる。
	部活動の状況	部活動に教職員全体で協力し、適切な管理体制の下に実施されているか。 (生徒・保護者からの苦情等がなければB)	A 4 B 33 C 7 D 1	A 4 B 33 C 5 D 1	

2 次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

2 改善方策等

- ①情報の共有化や共通理解・共通実践に努めることが必要。
- ②3学科集合型というのが最大の特徴だと思うが、活かされる取組みや話し合いのきっかけがない。議論するという習慣をつくるところから始める必要がある。授業時数、行事の精選、進路指導、LHR、総合的な学習の時間のことなど議論する必要がある。
- ③教科の指導において、アクティブラーニングやその評価の在り方について、校内外研修や学科・教科での話し合いが必要である。
- ④教科指導の工夫・研修などに参加し、よりわかりやすい授業をすすめていくことが必要である。
- ⑤進路指導について、多様な進路に対応するための、分野・試験別の在り方の検討を行う必要がある。
- ⑥健康安全について、サポートを必要とする生徒に対する学習の在り方の検討を行う必要がある。

【回答割合集計】

学校名	北海道江別高等学校
-----	-----------

本年度の経営方針

<p>学科の特性や専門性を生かし、生徒の多様な学習ニーズに応えるとともに、学科間の連携を通して、高校教育として共通に求められる知識や技能を修得させる。</p> <p>(1) 魅力ある学校づくりの推進～創意工夫に富んだ特色と魅力ある教育活動を進め、家庭や地域社会から信頼される学校づくりにを推進する。</p> <p>(2) 教職員の協働体制の推進～教職員一人一人が自らの資質能力を高め、質の高い教育を保証するための組織協働体制の構築を推進する。</p> <p>(3) 適切な教育環境づくりの推進～生徒の多様な活動を支援するとともに、生徒一人一人の可能性を伸ばす教育環境の整備を推進する。</p>
--

自己評価結果及び改善方策 A(十分である) B(おおむね十分である) C(不十分である) D(改善を要する)

大項目	中項目	評価項目・指標等 小項目	回答割合(%)			
			A	B	C	D
教育課程・ 学習指導	教育課程等 の状況	学校の教育目標を踏まえて教育課程が編成・実施され、教職員間で共有されているか (各学科の特色ある取組や普通科類型選択が共通理解の下に推進されていればB)	0.0%	79.5%	20.5%	0.0%
		学校行事、特別活動が適切な管理体制の下に実施されているか (行事・特別活動・総合的な学習の時間等が適切かつ効率的に実施されていればB)	13.6%	79.5%	6.8%	0.0%
		シラバスの様式や内容が、生徒にとって活用しやすく、学習態度を高めるような記載となっているか (生徒による授業評価やアンケート結果で肯定的な評価が多ければB)	0.0%	76.2%	23.8%	0.0%
	各教科等の 授業の状況	画一的な授業にとらわれず、習熟度に応じた指導(補充的学習・発展的学習)が適切に行われているか (学習状況調査結果等で肯定的な評価が多ければB)	11.9%	76.2%	11.9%	0.0%
各教科で家庭学習習慣が確立されるような取組を行なっているか (学習状況調査結果等で肯定的な評価が多ければB)		0.0%	78.6%	19.0%	2.4%	
生徒指導	いじめへの 対応状況	生徒の状況観察を適切に行い、いじめ防止に職員全体で取り組んでいるか (アンケート結果や面談等から、いじめに関する情報が昨年度より下回ってればB)	11.4%	88.6%	0.0%	0.0%
	生徒指導の 状況	生徒の状況を共有し、問題行動に適切に対処できているか (問題行動等(遅刻者数や交通事故等も含む)の指導件数が前年度より下回ってればB)	2.2%	84.4%	11.1%	2.2%
	特別な配慮 を要する生	教育相談が定期的・効果的に実施され、保護者やスクールカウンセラー、関係機関との連携協力の下で適切に対処されているか (退学・休学、不登校傾向の生徒数が前年より下回ってればB)	13.6%	79.5%	4.5%	2.3%
進路指導	進路指導の 状況	生徒の適切な勤労観・職業間の形成や社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力・態度を育成するための体系的・系統的な指導が行われているか。 (保護者懇談、生徒との面談をとおして進路指導計画等が伝わってればB)	11.4%	81.8%	6.8%	0.0%
	インターン シップの状 況	生徒に望ましい勤労観・職業観を育成するための職場体験や就業体験が適切に実施されているか (職場体験を行った生徒数、生徒の肯定的な感想が前年より上回ってればB)	11.1%	77.8%	8.9%	2.2%
健康安全	保健管理の 状況	生徒の保健管理(薬物乱用防止、救急救命法、心のケア等を含む)のための体制が整備され、保健指導・保健相談が適切に実施されているか (講演会実施後のアンケート結果等で肯定的な評価が多ければB)	27.3%	68.2%	4.5%	0.0%
	安全管理の 状況	学校事故や緊急事態に対応できるよう、危機管理マニュアルが整備され、周知されているか (防災時の役割分担、手順を理解し、生徒も避難方法を理解してればB)	11.1%	86.7%	2.2%	0.0%
その他	保護者・地 域との連携 の状況	保護者や地域へ積極的に本校の教育活動を発信し、地域貢献に努めているか。 (保護者・地域からの肯定的な意見が多ければB)	4.4%	82.2%	13.3%	0.0%
	部活動の状 況	部活動に教職員全体で協力し、適切な管理体制の下に実施されているか。 (生徒・保護者からの苦情等がなければB)	8.9%	73.3%	15.6%	2.2%